



ソメイヨシノ (院内)

事務部長の竹歳です。昨年4月にここ愛媛医療センターに赴任してからもう1年経ちました。今回の原稿を依頼され、改めて時間の流れの早さを実感しています。

さて、今年は天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位があり、これに伴って元号も変わります。「平成」はずんわり受け入れられたように記憶していますが、果たして「新元号」はどうでしょう。

そして、4月から5月にかけて10連休があります。病院は24時間365日稼働していますので、これに関係なく勤務している職員、特に、事務以外の職種の方には頭が下がります。ただ、これだけの長期休暇を経験するのは学生時代以来ですから、どうやって過ごそうかと考えている自分を反省しつつも、心待ちにしているというのが本音ですが。(喝だ!!)

ところで、当院の今年最大のイベント?は病院情報システムの更新です。諸事情により、電子カルテではなくオーダリングシステム導入になりましたが、8月末の稼働を目指して頑張っているところです。更新されれば診療に関わる一連の業務が迅速化できますので、患者サービスにも繋がりますし、業務の効率化による「働き方改革」でいうところの「長時間労働の是正」に繋がっていくものと期待しています。

最後に、当院の理念にも掲げていますが、患者さんをはじめとする地域の皆様や他の医療施設の方々から、より一層信頼される病院となるべく、職員一丸となって努めて参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。  
事務部長 竹歳 満

NEXT  
STAGE

# 心臓リハビリテーション

## 目指せ！ 健康寿命の延長

「心不全パンデミック」という言葉をご存じでしょうか？日本は世界でもトップクラスの超高齢社会であり、平均寿命は世界第1位です。その一方で、心不全を含む心疾患にかかる患者は増加しつづけ、がんに次いで死因の第2位を占めています。高齢者の増加に伴い、高齢心不全患者さんが大幅に増加すること＝「心不全パンデミック」が予想されています。そのため高齢者医療を支える莫大な医療費だけでなく、要介護状態の高齢者を介護するための人的資源の確保が喫緊の課題とされています。

心臓病患者さんの健康寿命（自立した生活期間）の延長が心不全パンデミックに対する有効な対策の一つと考えられます。当院では、愛媛県内の他施設に先駆けて心臓リハビリテーションチームを発足し、運動療法・生活指導を介して心臓病患者さんの健康寿命の延長に取り組んでいます。当院に通院中の患者さんだけでなく、愛媛大学医学部附属病院や愛媛県立中央病院からの紹介患者さんも増えており、心臓リハビリテーションを通して地域医療に貢献することが当院循環器科の役割と考えています。昨年は理学療法科の丸橋理学療法士

が心臓リハビリテーション指導士認定試験に合格し（合格率57%）、当院の認定指導士も4名になりました。同科川道理学療法主任の発案で開始した心臓病患者さんの下肢筋肉の質を評価する試みは国際学会（7th Asian Preventive Cardiology & Cardiac Rehabilitation Conference：平成30年11月 香港；写真）で発表することができました。今後も心臓リハビリテーションチーム一丸となり心臓病患者さんの健康寿命延長を介して地域医療に貢献できればと思っています。

循環器内科医長 船田 淳一



左から：川道理学療法主任  
船田医長・丸橋理学療法士

## 誕生 心臓リハビリ指導士

「心臓リハビリテーション指導士制度」は日本心臓リハビリテーション学会によって2000年に制定された制度であり、心臓リハビリテーション（以下：心リハ）に携わる者の知識を標準化し、職種にとらわれずに心リハを実施できるための資格です。

私は今年の夏に試験を受け、無事合格することができました。協力していただいた循環器内科の先生方や心リハスタッフの方々に深くお礼申し上げます。

心リハは運動療法を中心的な役割として様々な効果が証明されています。運動療法の効果としては、①運動耐容能の向上、②易疲労性の軽減、③心不全再入院率の低下、④生命予後の改善、⑤冠危険因子の改善などが挙げられます。

しかし心リハでは効果を最大限に発揮するために運動療法のみならず、食事療法や冠危険因子の是正などの患者教育も重要であり、他職種間の連携が必要不可欠です。

そこで「心臓リハビリテーション指導士」として安全な運動療法の実施や運動設定の見直しや効果判定などの専門的な役割だけでなく、心リハに参加するスタッフとして一定レベルの知識や経験を有する存在とし

て他職種連携の「橋渡し」としての役目があると考えています。

今後は心リハ指導士として患者さまにとってより良い包括的なアプローチが可能となるように、他職種間の連携を大切にして広い視点から心リハを考えていきたいと思っています。

最後に、少しでも心リハについて知っていただきたいと考えていますので、気軽にご相談ください。（理学療法士の丸橋、専従看護師の八木まで）

理学療法士（心リハ指導士） 丸橋 尚也



丸橋理学療法士  
（心臓リハビリ指導士）

# 第14回 院内研究発表会



平成31年2月22日に第14回院内研究発表会が開催されました。今回は22演題と多くの発表があり、それぞれの発表に対する質疑も行われて大変充実したものになりました。一方で、発表会を午後の勤務時間内に収めたため、発表時間の管理が大変でしたが、発表時間を大きく超える発表もなく、座長の皆様にご配慮いただいたこともあって、スケジュール通り終了することができました。多忙なか、時間をやり繰りして会に参加していただいた皆様にご迷惑をおかけすることもなく大成功であったと思います。

今回は、看護学校、検査科、療育指導室、看護部、栄養管理室、リハビリテーション科、薬剤部、医局、放射線科と多くの部門から発表がありました。毎年、発表の中から院長賞と臨床研究部長賞が選定されます

が、今回は放射線検査に関する発表が院長賞、重症心身障害児者に関する発表が臨床研究部長賞に選ばれました。放射線科の研究は新しい技術で医療の質と業務の効率を改善しようとするものでした。重症心身障害児者に関する研究は、重症心身障害児者に特有の問題をケースに合った方法で解決しようとするものでした。重症心身障害児者に関する発表は4題と多く、問題を研究し改善しようとする熱意が感じられました。

院内研究発表会は多くの方のご協力をいただいて開催されています。拙稿を結ぶにあたって、今回の開催に際して関わっていただいた皆様にお礼を申し上げます。

臨床研究部長 安原 美文



## 発表演題一覧



### セッション1

- 卒業前にエンゼルケアの演習を実施した学生の学び
- 看護基礎教育におけるキャリア教育が看護学生のキャリア認識に及ぼす影響
  - 先輩看護師とのシンポジウムを通して—
- 病院経営の健康診断システム（成長ドライバ理論）について
- 愛媛医療センターの診断結果について
- ポストNICUにおける病児の発達・心理に寄り添った遊びの必要性の検証
- 大腿骨（頸部・転子部）骨折クリニカルパスの妥当性と課題
  - ～術後経過とパリアンスの調査から在院日数との関連を分析～

### セッション2

- 抗ウイルス療法（DAA）施行C型慢性肝炎患者の食品・栄養素摂取状況と嗜好の変化
- 当院における慢性腎臓病診療 —糖尿病性腎臓病と非糖尿病性腎臓病を比較して—
- 間質性肺炎急性増悪患者に対してバッテリーを搭載したハイフローセラピーを用いて積極的運動療法が可能となり退院に至った1症例
- 当院の呼吸器に関するヒヤリハット内容からみえたRSTの課題
- 人工呼吸器装着中の重症心身障害児に対する腹臥位療法の効果 —呼気圧の変化を検討した一例—
- A病棟に入院する高齢慢性心不全患者に対する自己管理行動の現状

### セッション3

- 高齢の呼吸器疾患患者に対する口腔ケア手順表の効果の検証
- 当院における重症心身障害者の腫瘍スクリーニング検査（腫瘍マーカー、エコー検査、便潜血検査）と腫瘍症例についての検討
- 重症心身障害児（者）病棟におけるストーマ造設患者への小麦ふすまを用いた排便コントロールの効果
- 筋緊張の強い重症心身障害者への筋緊張緩和に向けての取り組み～筋緊張の強い重症心身障害者に対する筋緊張緩和のための効果的なポジショニング検証～
- 当院における初回バンコマイシンTDMの初期投与量設計の検討

### セッション4

- A病院手術室における外回り看護シミュレーション実施後に意見交換会を取り入れた教育の効果
- CT画像の増加が画像診断に与える影響について
- Virtual Grid (VG) の使用経験
- 腰部圧痛を主訴に受診した症例
- 当院における医療・介護関連肺炎（NHCAP）症例の後方的検討



右から：院長賞を受賞した山本放射線副技師長・大松技師長・吉村技師

# 地域の輪



## 宮内医院

### 繋がる地域医療連携



当院は1947年に開院して以来、70年余りにわたり松山市の南東部、小野地区で内科を中心とした診療を続け、地域の皆さまの健康を見守ってきました。

さらに、2018年4月からは県内のさまざまな病院で外科診療の経験を積んだ医師が新しく院長として就任し、従来の内科診療に加え、外科で培った見識も加えて診療しています。当院長は愛媛県立中央病院では消化器外科、愛媛県立今治病院や愛媛県立南宇和病院で外科、愛媛大学附属病院では肝胆膵乳腺外科に勤務していた経験があり、さまざまな外科分野の診療に携わってきました。そのため、当院では患者さまの病状や緊急度などを見極めて、必要に応じて専門の医療機関をご紹介

するといった対応ができます。「どの診療科を受診したらいいのかわからない」などのお悩みにも対応できますので、まずはお気軽にご相談いただければと思います。

当院では診療科目に縛られることなく、どのような不調であっても対応できるような医院を目指しています。患者さまが日常生活の中で継続的に治療を受けていただけるようにすることを第一に考えておりますので、まずは総合的に診させていただき、地域の皆さまの健康をサポートする最初の窓口としても関わりたいと考えています。患者さまとのコミュニケーションを大切にしながら、お子さまから年配の方まで心のこもった診療を目指しております。お身体のことでお困りの際はどうぞ気軽にご相談ください。

施設名：宮内医院

院長：白井 信

診療時間：月曜～土曜 9時～12時

月曜～金曜 13時30分～18時

休 診：土曜午後・日曜・祝日

住 所：松山市北梅本町761

電 話：089-975-0091

## OUT BREAK

### 新型インフルエンザ訓練 実施

今シーズンもインフルエンザが猛威を振るいました。毎年、インフルエンザシーズンになると、「豚インフルエンザ」とも呼ばれたパンデミックインフルエンザを思い出します。2009年4月12日メキシコ・ベラクルスの町で発生した原因不明の呼吸器感染症集団発生がWHOに報告されて、わずか9週間で全てのWHO地域に感染が拡大しました。毎日のパンデミックインフルエンザ報道で、特に、基礎疾患を有する患者さん方は、不安に思われたのではないのでしょうか。

2月26日に、愛媛県健康増進課、中予保健所等関係機関と、新型インフルエンザ等対策連携訓練を実施しました。第1種感染病床を有する愛媛大学医学部附属病院に入院している新型インフルエンザの疑似患者さんが、容態が安定し、薬剤耐性のないことが確認されたことを想定して、入院協力機関である当院へ転院されてきた時の、対応訓練を実施しましたのでご紹介したいと思います。

模擬患者さんを乗せた救急車が救急搬送患者専用の入口に横付けされました。そして、ストレッチャーに乗った、陰圧バッグ（換気装置付きの外

気を遮る覆い）に入った模擬患者さんを、防護服を着用した医師と看護師が迎えました。その後、専用エレベーターで、他の患者さんとは接触しないように病室へ入院しました。当院には結核患者さん専用の陰圧病床以外に、陰圧病室が2床あります。ここへ感染症の患者さんは入院します。模擬患者さんを病室のベッドに移し、診察や検体採取を実施し訓練を終了しました。

パンデミックインフルエンザから今年で10年が経ちました。次はいつ起こるのでしょうか。当院では、いつ新型インフルエンザの患者さんが来られても対応できるように、マニュアルを整備し有事に備えています。今後も、一般的なインフルエンザ感染対策として、咳エチケットおよび手指消毒を基本とする標準予防策を確実に遵守し、日頃から、感染拡大の防止に努めていきたいと思っております。

看護師長（感染管理認定看護師） 金子 幸代



受け入れ病棟へ搬送中

# 医心伝心

本当は怖い脂肪肝のおはなし

今回のテーマは脂肪肝です。健康診断で腹部超音波検査や採血を受けると、受診者の約3割で脂肪肝を指摘されると言われています。あまりに一般的なもので脂肪肝はそんなに怖いものではないとつい思いがちです。が、実際はそうでもないぞというお話です。

肝臓とはさまざまな仕事をする重要な臓器です。その一つがエネルギーを中性脂肪として蓄えることで、この中性脂肪がたくさん溜まった状態が脂肪肝です。エネルギー摂取と消費のバランスが取れていればよいのですが、脂肪や糖質を摂り過ぎてさらに運動不足の場合には、使いきれなかった分を中性脂肪として肝臓に蓄えます。お酒の飲み過ぎや肥満の人は特に溜まりやすくなります。

この脂肪肝の内アルコールが原因でないものの約20~30%が非アルコール性脂肪肝炎(NASH)と呼ばれる病気になります。そのうち5~20%が5~10年の間に肝硬変まで進むとされています。これまでアルコール性や原因不明とされてきた肝硬変の中に実際はNASHが関与しているものが

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

かなり含まれていると考えられています。このNASH肝硬変からの肝がん発生率は5年で最大15%程度とされ、これはかなり高いと言えます。

怖くなってきましたか？では予防・治療をしましょう。脂肪肝の多くは生活習慣を変えることで改善します。食事では油物を減らすより、ご飯やパン、麺類を減らした方が効果的です。加えて運動、特に有酸素運動、ウォーキングやランニングを習慣にすると多くの人が体重を減らすことができます。2kgの減量で脂肪肝は良くなると言われていますし、更に他の生活習慣病まで良くなるおまけもついてきますから、皆さん頑張ってください。

消化器内科医師 武智 俊治



## いのとん キッズドクター体験

この指と~まれ!

平成31年2月23日(土)に東温市の企画による「いのとんキッズドクター体験」が当院で実施されました。(いのとん:東温市のゆるキャラ。かわいいので検索してみてくださいね)

小学生に、病院見学や診療に関する体験を通じて医療福祉への興味・関心を高めてもらい、親世代には、生活習慣病への関心を高めて、家族の生活習慣の見直しの機会としてもらいたい。という開催主旨に病院として全面的に協力しました。

当日はオリエンテーション後に放射線科からスタート。CT、MRI等の装置や撮影した画像の説明、MRIの磁力の強さの実験など、放射線技師長、副技師長がコンビで分かりやすく話してくれました。

リハビリテーション科では体を動かす器具や、



心臓教室での説明

心臓の血管が...



聞こえる?

お母さんの血圧を測定

脳の働きを活性化させるパズルなど、子ども達の興味を引くものが多くありました。車椅子の動かし方にもすぐに慣れて自在に動き回って楽しんでいました。

医師体験では保護者の方の血圧を測ったり、胸の音を聞いたりして医師の説明を真剣に聞き、その後の老人体験や妊婦体験では、自分のおじいちゃんやおばあちゃん、妊娠していた時のお母さんの苦勞を体験して「大変だねえ」と素直に驚いていました。

久保統括診療部長から「こども医師免許証」を授与され、記念撮影をして終了となりましたが、子ども達の笑顔と元気のおかげで担当者達も楽しい時間を共有できました。東温市は医療と福祉の街と言われますが、その一端を担う病院として今後も地域の皆さんと歩んでいきたいと思えます。

最後に、お世話いただいた東温市健康推進課や病院職員の皆さん、そしてご参加いただいた保護者、小学生の皆さんにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

管理課長 頼本 真一

# 医療安全管理室 だよ こんなことしています

## 他施設と連携

## 医療安全相互チェック

国立病院機構では2014年度から、「各病院の医療安全対策の現状について評価を実施し、医療安全対策の質

の向上と均一化を図り、もって医療安全対策の質の向上を図る」という目的で、国立病院機構内の病院間で医療安全相互チェックを実施してきました。

2018年度は診療報酬の改訂により国立病院機構以外の医療機関とも連携し、医療安全相互チェックを行うことになりました。この医療安全相互チェックでは、医療安全対策における自施設の課題が明確になり、他施設の良い取り組みを吸収することで、医療機関の医療安全の向上を図ることが期待されています。

当院は松山市内3病院と伊予市内1病院を訪問し、医療安全管理体制や全職員対象研修の実施状況の確認、薬剤部門と病棟で行われている医療安全対策について評価を行いました。訪問した病院はどれも医療安全管理体制が整備されており、特に誤薬防止や患者誤認防止のための取り組みなどは当院でも参考にさせていただきたいと感じました。



当院21病棟をラウンド中

また当院は上記の病院のうち2病院の訪問を受け、評価していただきました。評価の結果、医療安全管理体制ではマニュアルの整備、薬剤の管理などについてご指摘を頂きました。

第三者の評価を受けることで、普段できていると思っていたこともできていないことがわかりました。今後は指摘事項について改善し、他の医療機関の良いところを参考に取り入れることで、医療安全対策の質の向上に努めたいと思います。ご協力頂きました医療機関の皆様、及び当院の職員の皆様に感謝申し上げます。

看護師長（医療安全管理係長） 佐久間 千代子



## 四季燦餐 ~いちごの巻~

ほかほかと暖かい陽気に包まれる季節となりましたが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

冬のイメージカラー「白」から少しずつ色づき、視覚からも春の訪れを感じられるようになりましたね。そこで今回は色鮮やかな赤色をした「いちご」についてお話ししたいと思います。ハウス栽培により、1年を通じて店頭で並んでいます。実はいちごの旬は、1～5月なのです。そして、最も甘いのは4～5月と言われています。いちごが赤い理由は、アントシアニンによるもので、眼精疲労や視力回復に効果が期待できると言われています。

また、カルシウム、葉酸、カリウム、マグネシウム、食物繊維も豊富に含まれていますが、中でもビタミンCは、果物の中ではトップレベルで、「ビタミンCの女王」と言われる程です。中くらいのサイズであれば、1日7粒ほどで1日に必要な量のビタミンCを摂ることができます。

そのまま食べても栄養素はほとんど吸収されませんが、練乳や牛乳などの乳製品に含まれる脂質と一緒に摂取すると体内への吸収率が2～3倍アップすると言われています。

生の状態では傷みが早いので、冷凍保存するといいでしょう。冷凍後は、半解凍の状態で潰していちごミルクにしたり、そのままフルーツアイスとしたり、スムージーの材料としてもおすすめです。

甘くて、美味しく、栄養価も高いうえに眼精疲労回復にも期待できるいちご!!

旬のこの時期に、食卓を鮮やかにしてくれる「いちご」を取り入れてみませんか。

※治療中の方は、主治医に確認されることをおすすめいたします。



平成31年3月6日、私たち3年生39名は学校長先生をはじめ、たくさんのご来賓の方々にご出席いただき、先生方や家族に見守られながら、無事卒業式を終えることができました。ご来賓の方々からの温かい激励のお言葉に、卒業することを実感し、感動と寂しさで胸がいっぱいになりました。

この3年間を振り返ってみると、あっという間に時間が過ぎていきました。1年次の決意式では、臨地実習に臨む決意を誓いました。2年次は学校行事の主体となるとともに本格的な実習が始まりました。3年次は臨地実習と国家試験に向けての勉強を両立することが大変でしたが、看護師になるという気持ちを胸に最後まで頑張ることができました。学校生活では多くの苦難が私の前に立ちました。先生方やクラスメート、家族の支えのおかげで乗り



### 第十五回 卒業式

越えることができました。あっという間の3年間でしたが、私にとってはとても充実した3年間となりました。

4月からは新しい環境で一人の社会人として、また命を預かる立場として働きます。学生とは違う状況で戸惑うこと、不安になることもたくさんあると思いますが、学生生活で培った諦めない気持ちと強い心で、しっかりと土台を作り乗り越えていきたいと思っています。真っ白い白衣を自分色に染め、それぞれが抱く看護師像に近づくことができるよう精進したいと思います。また今まで支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献していきたいです。

卒業生代表 高松 美央



卒業証書

※本校は看護師国家試験に全員合格しました！

## ちよつと言い放し

愛媛医療センターニューズ編集委員の持ち回りでお届けします。

随分と便利な時代になった。とつくづく思う。調べたいことがあれば、ネットにはありとあらゆる情報が氾濫している。昭和の御世には、百科事典の頁を捲っていたことを考えると隔世の感は否めない。

恋人との語らいにしても、スマホでいつでもどこでも、いつまでも…。一家に一台しかない黒ジコ電話で話していた「いつまで話したるの。大事な電話がかかってきたらどうするの？いい加減にしない」と家族の叱責を受けた方も多いのではないだろうか。

待ち合わせだつてそつだ。現代では行き違いなんて絶対にあり得ないのではないだろうか。スマホを取り出して「今、どこ？」で離ればなれの恋人たちは、あつという間に手をつないで歩きます。文明の利器とその進化、発達には驚かされるばかりだ。

一方で、そつした利便性と引き換えに、ドキドキ・ワクワク・ハラハラといった「ときめき」がめつきりと減つたのではないかと思う。

なんだか、味気ない時代になつたなあと思うのは昭和世代ゆえだろうか。「人の心までも電子化されたような時代」と言えば、大袈裟だろうか。

盤面にそつと針を乗せていたレコード、駅の隅の伝言板、手書きの手紙、交換日記…。アナログには、人の思いや息遣いを伝えてくれる、現代テクノロジーにはない温かみがあると思う。

アナログとアナログは似た言葉ではあるが、中身は断じて違う。普段の暮らしでも仕事でも、ほんの少しの間を掛けて、アナログを取り込むことで、周りに癒しと温もりをお裾分けするのも悪くないと思う。

例えば、書類の隅に「お疲れさま」と手書きした付箋を貼るとか、家族への伝言にメールではなく、メモを置いておくとか、きつとホッ「リ」としてくれるはず…。

樹懶菴

おつかれさま

# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834  
外科外来直通電話 089-990-1835

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	船田	泉	岩田	関谷
		午後		岩田			
	11診	午前					
		午後			船田		
	12診	午前					
		午後			泉		
消化器内科	9診	午前	武智	山内(一)	久保	山内(一) (糖尿病専門)	久保
		午後					
	12診	午前			廣岡	大藏	
		午後					
呼吸器内科	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	阿部	伊東
		午後					
	11診	午前		渡邊		仙波	山本
		午後					
神経内科	12診	午前	小原	尾原			戸井
		午後				小原	
整形外科	15診	午前	宮本			宮本	担当医(初診のみ)
		午後					
	16診	午前	相澤		相澤		
		午後					
リハビリテーション科	15診	午前		曾我部	曾我部		
		午後					
外科	14診	午前					
		午後		石丸			
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本	渡部(第3週)	
		午後					
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
		午後				佐野(第4週14時30分~)	
小児科(神経外来)	14診	午前	菊池		濱田		菊池
		午後					

※循環器内科の担当医は、4月と5月で一部異なりますのでご確認ください。

専門外来(予約制)		月	火	水	木	金
心臓外科外来	14診				泉谷(隔週)	
ペースメーカー外来	6診				第2・4(午後)	
糖尿病外来	11診					古川(月1回)
フットケア外来	8診				毎週	
スキンケア外来	救外		第1・3(午前)			
ペインクリニック	11診			山内(康)(午前)		
じん肺外来	14診					西村(第1・3午前)
アスベスト外来	11診		午後		午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13時30分~)				
SAS外来	11診					渡邊(14時~16時)
頭痛外来	13診				永井(第2・4午前)	
神経難病	13診			橋本		

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。  
ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2019年5月1日現在

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。